

令和5年度 コミスクだより No.10

金津小学校



金津小学校長 榎千穂子
学校コーディネーター 吉田 真実

6年生 いろんな職業の方のお話を聞く

6年生は毎年、様々な職業の方からお仕事についてのお話を聞かせてもらっています。今年度はフレンチシェフの榎原隆志さん、弁護士の松本亘市さん、競輪選手の岩本和也さんにお話を伺うことができました。

お仕事の内容や、この職業に就こうと思ったきっかけ、仕事の一日の流れ、挫折したこと、うれしかったこと、ターニングポイントなどをわかりやすくお話していただき、普段知ることができない詳しいお話を聞くことができました。

さらに、榎原さんからは自分がうれしいと思うものを提供することがお客様の喜びにつながると気づくことができたことが、一番のターニングポイントであったこと、松本さんからは勉強をがんばることが将来の選択肢を広げるといふこと、岩本さんからは子どもの頃にやっていたことは、大人になった時に必ずやっていたよかったと思うとのメッセージをいただきました。

子ども達は将来について考えるだけでなく、普段からの勉強や習い事、好きなことへの向き合い方についても考える良い機会となりました。

フレンチシェフ 榎原隆志さん



競輪選手 岩本和也さん



弁護士 松本亘市さん



国語に関連した読み聞かせ

2・3年生が松本多美子さんに「まーふあのはたおりうた」と「ふくろにいれられたおとこのこ」を読み聞かせさせていただきました。

「まーふあのはたおりうた」は、戦で死んだ恋人のために不思議な麻ではたおりをしたまーふあが、ある晩、その輝くような美しい布に乗って恋人に再会できるというお話です。

七夕にも似たお話で、子ども達は静かに聞き入っていました。



やまんばのお話会

今年度最後のやまんばさんの読み聞かせ。子ども達が楽しい気持ちになるようにと、笑顔になる絵本を読み聞かせていただきました。絵本「かえるをのんだととさん」は、おなかの中の虫を退治するためにかえるをのんだととさんが、かえるを追い出すために次はへびを、へびを追い出すために次は・・・と、思いもよらないものを飲み込んでいくお話です。最後にはみんなが笑顔になっていました。



2・3年生 いのちのはじまり

県立看護大の河合先生をお迎えし、2・3年生が赤ちゃんのおなかの中での成長について学びました。最初に黒い小さな色画用紙が配られ、中心には小さな小さな点が打たれています。「これなんだろう？」と子ども達が光に透かしていると、「これが、みんなになるいのちの最初の大きさだよ」と教えていただきました。

そこから子宮、へその緒、胎盤について簡単に説明を受けた後、3か月、5か月、8か月、そして生まれたくらいの大きさの赤ちゃんの人形をそれぞれ全員が抱かせてもらいました。子ども達は「たった2か月でこんなに大きくなるの!？」と驚いていました。



金津小学校のホームページではバックナンバーも掲載しています。

また、金津っ子ちゃんねるにて様々な動画も公開しています。

ぜひご覧ください。

金津小学校

